

全日本少年少女空手道選手権

鈴木さん(6年) 南山形小 県勢初3位

山形市南山形小6年の鈴木真海さん(12)が、全日本少年少女空手道選手権(4、5日・東京武道館)に出場し、組手の同学年女子部門で3位入賞を果たした。同部門では県勢初の快挙。鈴木さんは「技を出し切ることができた。中学生になったら日本一を目指したい」と意気込んでいる。

鈴木さんは姉と兄も通っていた同市南三番町の崇武館(飛鳥宗一郎館長)に、就学前から通い、週2回の練習に励んできた。昨年の全日本選手権で1回戦負けを喫したことが転機となり、強くなりたいたいという気持ちから、早寝早起きの規則正しい生活を心掛け、宿題も早く終わらせるようにした。飛鳥館長は「試合

組手女子「中学では日本一を目指す」



組手の小学6年女子で県勢初となる3位となった鈴木真海さん
＝山形市南三番町・崇武館

で勝てるかどうかは、技術は地から97人がエントリーしもちろん心の持ちようでも変わった。去年の雪辱を果たすかの「つてくる」と話す。ように、鈴木さんはトーナメント戦で次々と相手を倒し、健一さん(52)は「やるのは本準決勝に進出。そこで敗れた人。好きにやってこい」と送るもの3位をつかんだ。鈴木見据えた。同部門には全国各さんは「自分でもびっくり」

と話し、健一さんは「楽しんで戦っていた」と振り返る。道場内外のライバルと研ぎ合った結果の好成績。鈴木さんは「一生懸命頑張っていて仲間たちに、この記録を破ってほしい」と続ける。中学生になると1〜3年生が同じ部門で試合をすることになる。「技を磨き続け、3年生までに優勝したい」と将来を